

仙台市議会 市政活動報告 民主フォーラム仙台

令和3年 議会報告 夏号

仙台市議会議員(青葉区) 郷古正太郎

発行：民主フォーラム仙台 編集：郷古正太郎 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1



市議会の令和3年第2回定例会が終わりました。

今議会では163億円に上る補正予算を含む12件の議案が可決されました。内容としてはコロナ禍における感染症対策が大部分を占めており、逆に学校の芸術鑑賞会の縮小や仙台ハーフマラソン中止等の影響による減額補正なども行われました。私も本会議にて登壇させていただき、大綱3点14問の質問をさせていただきました。今回も地元の方々を中心にいただいた全市政の問題を解決するため、提案型の質問を行いましたので、ご一読いただければ幸いです。今後も「市民に一番近い地方議会」の議員として、皆様の声から学ばせていただき、市政発展のために力を尽くしてまいります。

プロフィール：

妻・娘(4歳)と川平在住。泉ヶ丘幼稚園・仙台市立中山小学校・中山中学校(バレー部)宮城県立工業高等学校(バレー部副主将)卒業。5年の地元工場勤務・在職中に東北学院大学経済学部入学、在学中に営業企画職を経て衆議院議員郡和子(現仙台市長)秘書、在職中大学卒業。市長選挙後から参議院議員桜井充第1秘書。2019年市議会議員選挙当選(1期目)

- 21年宮城大学 大学院博士前期課程に入学し、子育て環境と教育環境の研究を行っております

所属

仙台青年会議所(資質向上委員会副委員長)
青葉区少年野球連盟(顧問) 青葉消防団荒巻西分団(青葉消防団広報企画委員)

趣味

子どもと遊ぶこと(最近はカルタが大好き)バレーボール・サッカー観戦(ベガサポで元太鼓10年)ラーメン食べ歩き

第2回定例会の質問要旨



本会議

PCR検査について

保育施設や教育施設で新型コロナウイルス感染症の陽性が確認された場合、保健所から現地に赴き関係者から聞き取りを行い、濃厚接触者を認定する。そしてPCR検査をドライブスルーで行い、車がない家庭では市役所手配のタクシーで行うが、検査まで7日待ちなどの例も出ている。唾液の検査キットを配布・回収する体制構築をすれば、時間と手間がかからず感染リスクの低減にもなる。このような検査方法を検討すべきではないか。

答弁 健康福祉局長

ご提案の手法については検体の管理や配送等の課題もあるが、こうした方法も含めて検討を進めるほか、検査会場への搬送体制の強化も進め、必要な方が速やかに検査を受けられる体制の確保を図っていく。

濃厚接触者への支援について

濃厚接触者になると、場合によっては陽性患者の自宅療養期間よりも長い自宅待機期間が設定されることもある。自宅療養者には食糧支援があるが濃厚接触者にはない。地域商店や小売店と自宅を結ぶ配送費用を助成している他都市の事例もあり、本市も検討すべきではないか。

答弁 健康福祉局長

個別の状況に応じて丁寧な対応に努め、自宅待機中の濃厚接触者への支援の在り方について考えていく。紹介のあった配送体制は、自宅で過ごされる濃厚接触者の方がそのストレスを少しでも改善できるという点で、有効な制度かと考える。ご紹介のあった事例の情報収集などもさせていただきながら、検討してまいります。

いじめ実態把握調査のWEB化について

昨年七北田小学校でいじめ実態把握調査の改ざん事件があったが、その調査の改善策は複数教員で開封・コピーを行うと
のことで、多忙な教員を更に多忙にするのではないかと危惧をしている。保護者にとっても回答しやすく、且つ教員の多
忙化解消に資するアンケートのWEB化を進めていくべきでは。

答弁 教育長

学校のいじめ実態把握調査の学校のいじめ対応に関する部分の調査については、今年度より個人情報の記載を求めない方
向で調整しているが、保護者や児童生徒の声を正しく受け止めることができるよう自由記述欄を設ける予定であり、その
中に個人情報が含まれることも想定されるため、現時点でのWEB化は難しい。来年度以降の実施に向けては、今年度の
実績なども踏まえ改めて検討してまいりたい。

学校検診について

子どもの成長期に背骨がS字に曲がる側弯症の発症は、日本では2～3%とされているが、仙台の学校検診で側弯症の検
査はスコリオメーターという分度器を使用し小学校5年生のみ。発見が遅れると手術の必要が出てしまい、他都市では訴
訟も起きている。成長期後半の中学1年生でも検査すべきと考えるがいかがか。

答弁 教育長

現在の小学校5年生を対象とした検査は一定の効果があるものと認識している、一方で、男子と女子では成長曲線が異な
るゆえ、中学校1年生を対象とした検査は、医師・学校現場と協議していきたい。

常任委員会 女性に対する暴力根絶及び被害者に要する経費について

補正予算で「女性に対する暴力根絶及び被害者に要する経費」が計上されたが、これは女性の生理用品を各支援策の窓口
アナウンスのチラシなどと一緒に配布するという予算と認識している。子どもアドボカシーの視点からも学校の女子トイ
レに置くべきと考えるがいかがか。またこの問題に恒常的に取り組むことを要望し期待するが、所見を伺う。

答弁 教育長

小中学生において生理用品が準備されていないということは、児童生徒が家庭の中で女性の体を大切にするという視点で
の十分な見守りをなされていない可能性もあり、そこに支援の手をと考えている。教職員が本人と話し、具体的な相談、
支援、家庭への支援にもつなげるため、保健室に常備し相談を実施できる体制にしたい。児童生徒を、家庭も含めて支援
し、それぞれの児童生徒の事情に寄り添いながら、一人一人に合わせた対応ができるようにしていきたい。

あなたの声から
勉強させていただきます!!

仙台市議会議員 ごうこ正太郎
市政広聴シート

お名前

ご住所

お電話番号

お困りごと ※いつ頃から、何がどの様に、など詳しくお書きいただければ幸いです。

FAX.022-303-8832

いただいた情報をもとに調査し、
地域の問題解決に生かしてまいります。